

## 平成 22 年度当初予算 重点的な取組別概要 < 重点事業 >

元気 5 : 地域の資源を活用した産業振興 ( 主担当部 : 農水商工部 )

### < 重点事業の目標 >

地域経済の活性化をはかるためには、競争に打ち勝つ商品・サービスの高付加価値化・高度化のほか、それぞれの地域の人材、技術、伝統技術、特色ある農林水産品やものづくり基盤などの地域資源を活用した、多様な主体による地域の取組が必要とされてきています。

そこで、県内各地域の活力を維持発展させるため、それぞれの地域資源と地域の「知恵」・「やる気」を生かした活力ある地域産業の振興をはかります。

### < 構成事業 ( 担当部 ) >

- ( 1 ) オンリーワン企業育成プログラム事業 ( 農水商工部 )
- ( 2 ) 伝統産業・地場産業活性化支援事業 ( 農水商工部 )
- ( 3 ) 中小企業の企業力向上再チャレンジ支援事業 ( 農水商工部 )
- ( 4 ) 中小企業等知的財産活用支援事業 ( 農水商工部 )
- ( 5 ) 地域特性を生かした産業誘致促進事業 ( 農水商工部 )
- ( 6 ) 地域資源ブランド化支援事業 ( 農水商工部 )
- ( 7 ) みえ農商工連携推進ファンド事業 ( 農水商工部 )
- ( 8 ) 地域資源価値創造・展開事業 ( 農水商工部 )
- ( 9 ) 地域産業振興方策実践支援事業 ( 農水商工部 )

### < 重点事業の事業費 >

( 単位 : 千円 )

	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
策定時の見込額 1	281,116	279,000	277,000	272,000
予算額等 2	223,100	297,226	2,923,717 ( 21,000 )	301,189

1 第二次戦略計画策定時における計画記載額

2 H19,20 年度は決算額、H21 年度は予算現額、H22 年度は予算要求額。21 年度の下段括弧書きは 20 年度からの繰越額で予算現額の内数。

### < 重点事業の数値目標 >

数値目標項目		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
県内中小企業のうち製造業の付加価値額の伸び率	目標値	-	102 (H18)	107 (H19)	109 (H20)	111 (H21)
	実績値	100 (H17)	105 (H18)	98 (H19)		

民間製造業のうち中小企業 ( 従業員 4 ~ 299 人 ) の付加価値額の基準年 ( 平成 17 年度 ) を 100 とした場合の伸び率。平成 22 年度の目標値は、平成 23 年春に把握できる平成 21 年度の実績数値により測ることとします。

### < 構成事業の目標 >

事業目標項目		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
(1) 高度化計画策定企業数 ( 累計 )	目標値	-	217 社	267 社	317 社	362 社
	実績値	177 社	212 社	236 社		

(2)地域資源活用事業計画策定企業数(累計)	目標値	-	46件	61件	76件	91件
	実績値	31件	52件	64件		
(3)経営革新計画承認企業数(累計)	目標値	-	430社	470社	570社	610社
	実績値	393社	456社	526社		
(4)知的財産のマッチング件数(技術移転件数)(累計)	目標値	-	19件	31件	45件	60件
	実績値	9件	17件	31件		
(5)県南部の条件不利地域への企業立地件数(累計)	目標値	-	2件	4件	5件	6件
	実績値	1件	3件	4件		
(6)地域のブランドづくりを支援する品目数(累計)	目標値	-	5品目	10品目	15品目	20品目
	実績値	-	6品目	11品目		
(7)ファンドによる農商工連携創出数(累計)	目標値	-	-	-	4件	12件
	実績値	-	-	-		
(8)地域資源価値創造・展開のための技術開発件数(累計)	目標値	-	4件	9件	17件	29件
	実績値	-	4件	12件		
(9)地域産業振興方策による取組実践数(累計)	目標値	-	2件	5件	7件	8件
	実績値	-	2件	5件		

#### <進捗状況(現状と課題)>

- ・ 厳しい経済状況のなかにあっても技術開発等に意欲的に取り組む中小企業において、92社の高度化計画策定を進めるとともに、技術力の向上、新商品の開発への支援や、産学連携の促進などに取り組んでいます。
- ・ 伝統工芸品産業や地場産業において、新たに14社の事業活性化を進めるとともに、「人、技、伝統」などの資源を活用した新たな事業活動への支援に取り組んでいます。
- ・ 企業進出上の不利な条件を抱えると考えられる県南部地域については、当該地域の特性を活かした企業の誘致を進め、これまで3件の立地が決まりましたが、厳しい経済情勢を踏まえ、補助対象分野の拡大や投資要件等を緩和した補助金を新設しています。
- ・ ブランド化に成功したモデル的な取組を三重ブランドとして情報発信しつつ、県産品の評価向上、流通拡大を図るとともに、農林水産物等を活用し商品化するための人材育成プログラムの実践やブランド化の素材となる地域資源の調査・評価を進めています。
- ・ 中小企業者と農林漁業者が有機的に連携し、互いの強みを活かした新商品、新サービスの開発等を促進するため、「みえ農商工連携推進ファンド」等による支援に取り組んでいます。
- ・ 地域経済の活性化をはかるためには、競争力のある独自の製品や技術を持つ中小企業を育成していくとともに、技術、ノウハウ、素材など様々な資源を持つ多様な主体の連携を誘発し、それぞれの強みを発揮した新商品の開発や販路開拓を促進していくことが必要です。

#### <平成22年度の取組方向>

伝統産業や地場産業をはじめ、地域を支える中小企業の活力向上に向けて、独自の技術・ノウハウの磨き上げや知的財産の活用促進を図るとともに、地域の新商品づくりに直結する研究活動を推進し、経営や技術の高度化、製品やサービスの高付加価値化を促進します。

県内農林水産物などの地域資源を活用した新事業の創出に向けて、新商品開発等の支援や人材育成、全国展開などを視野においた市場開拓を行うとともに、中小企業者と農林漁業者の連携を促進し、新たな着眼点による創意工夫を生かした事業展開を支援します。

<主な事業>

オンリーワン企業育成プログラム事業

【基本事業名：23201 ものづくり産業の高度化】(事業(1))

予算額：(21) 75,488千円 (22) 69,323千円

事業概要：退職人材に加え、民間の専門家を活用して、中小企業の事業戦略の策定や課題解決を支援します。さらに、新たに工業研究所等の知見や技術を最大限に活用した取組を進めるなど、オンリーワンをめざす企業が行う新商品・新技術の研究開発を促進します。

地域資源ブランド化支援事業

【基本事業名：22202 農林水産資源のブランド化の推進】(事業(6))

予算額：(21) 65,309千円 (22) 58,785千円

事業概要：地域に埋もれている農林水産物を調査・再評価し、新たなビジネスシーズとして情報発信するとともに、地域資源を活用し、高付加価値化を戦略的に展開する人材を育成します。また、ブランド化に成功した県産品及び事業者を「三重ブランド」として認定するとともに県外を中心に情報発信します。

(一部新) 首都圏・海外市場開拓支援事業

【基本事業名：22202 農林水産資源のブランド化の推進】(事業(6))

予算額：(21) 32,528千円 (22) 27,615千円

事業概要：首都圏に三重県産品市場開拓スーパーバイザーを配置して、マッチング支援や高付加価値化支援に取り組むとともに、展示商談会への出展などを通じた県産農林水産物等の首都圏等での市場開拓や、海外市場開拓に向けた取組を進めます。また、流通拠点を活用し、首都圏における県産品の普及拡大や観光情報の発信に取り組めます。

(一部新) みえ農商工連携推進事業【基本事業名：23202 地域産業の活性化】(事業(7))

予算額：(21) 2,302,895千円 (22) 8,248千円

事業概要：中小企業者と農林漁業者が有機的に連携した新たな事業を創出するため、コーディネート機能を強化して多様な連携・交流を進め、「みえ農商工連携推進ファンド」等の活用により、農商工連携体による新商品・新サービスの開発等を促進します。

(新) 地域資源活用“お見事”企業プロモーション事業

【基本事業名：23202 地域産業の活性化】(事業(7))

予算額：(21) - 千円 (22) 8,178千円

事業概要：地域と密着し地域資源の活用に優れた事業者の発展を促し、かつ、県内において同様の取組を普及させるため、「地域の中で育まれてきた特色ある資源の活かし方や創意工夫」が見事な事業者を公募・選定のうえ、県及び民間のパブリシティ等を利用したプロモーション活動を実施します。